

21/3 期は SoC テスタに加えメモリテスタの回復も加わり、収益上伸見通し

株価 5810 円 (11/13) 時価総額 11595 億円 (11/13) 発行済株 199567 千株 (11/13)
PER (21/3DO 予: 28.0X) PBR (5.28X) 配当 (20/3DO 予) 62 円 配当利回り: 1.07%

要約

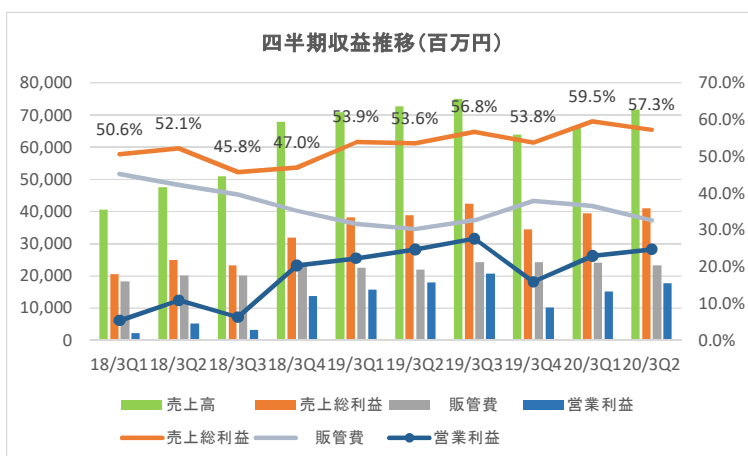
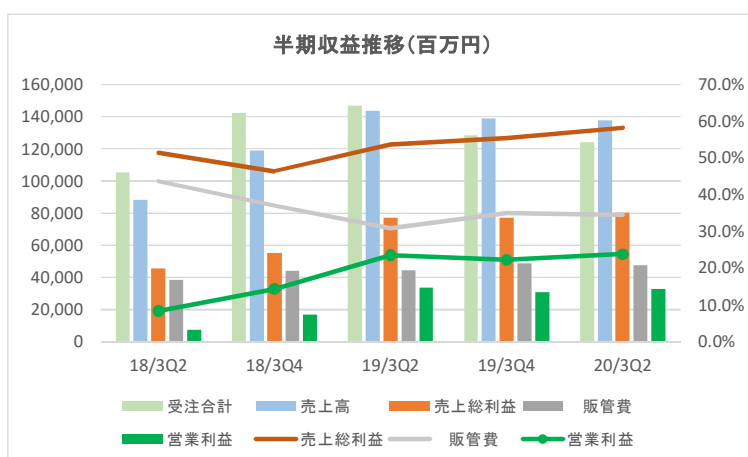
- ・ 20/3 上期 4.1%減収 2.6%営業減も SoC テスタ受注拡大で前下期比 0.8%減収 6.4%営業増
- ・ 20/3 期は上期を踏まえ増額修正し 12.6%減収 30.4%営業減変更も再度収益増額含み
- ・ 21/3 期は SoC テスタに加えメモリテスタの回復も加わり、収益上伸見通し
- ・ 株価は再増額、来期収益上伸で 21/3 期 DO 予想 EP306 円に対し電機平均 21 倍 6400 円目標

20/3 上期 4.1%減収 2.6%営業減も SoC テスタ受注拡大で前下期比 0.8%減収 6.4%営業増

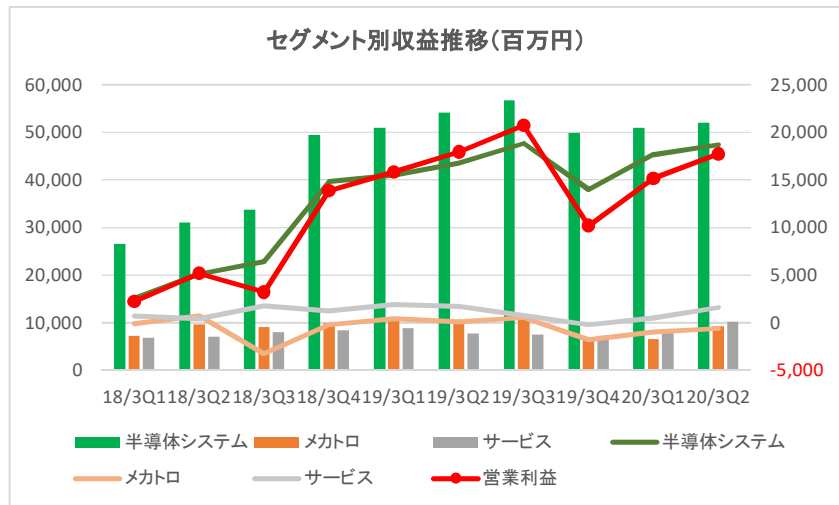
20/3 上期業績は売上高 1377.51 億円 (4.1%減)、営業利益 328.78 億円 (2.6%減) 税引前利益 267.72 億円 (11.2%減)、税引利益 225.83 億円 (35.5%減) となった。前年同期では減収減益となったものの、前下期比較では 0.8%減収、6.4%営業増とボトム打ちとなっている。また四半期推移では Q2 売上高 716 億円 (前年同期比 1.5%減 Q1 比 8.2%増)、営業利益 177 億円 (同 1.2%減、同 16.9%増) となっており、Q4 ボトムに収益回復が顕著になっている。なお受注は 583 億円 (同 23.5%減、同 11.5%減) と、こちらは 2Q がボトムのイメージ。

セグメント別では半導体・

部品テスト事業が売上高 1029 億円 (同期比 2.1%減、前期比 3.5%減)、営業利益 363.6 億円

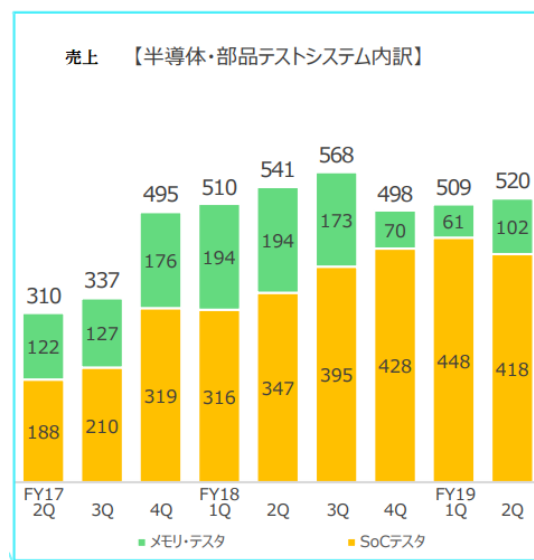
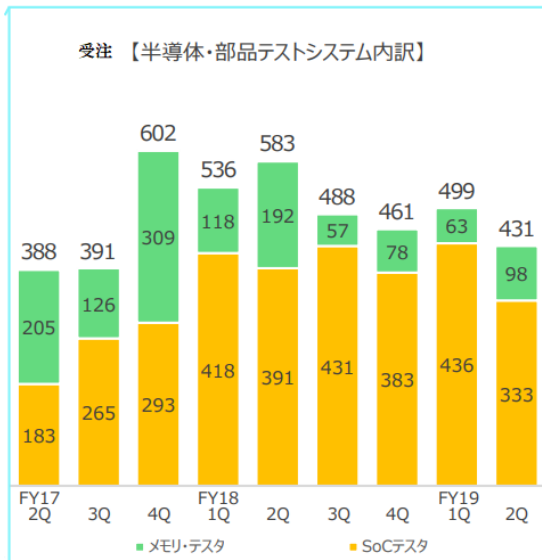


(12.7%増、同 10.8%増)、受注 930 億円(同 16.9%減、同 2.0%減)となった。メモリテストが前年同期比 58.0%減収となる中で、SoC (System on Chip) テスタ 30.6%増となった。受注では上伸した。具体的にはスマホ用半導体、特に



アプリケーションプロセッサの高性能化に伴いテスト項目が増加、加えて 5G 向け伸長があげられる。営業増益となったのは採算のいい SoC テスタの構成比が向上したため。一方、メカトロ事業は売上高 160 億円 (前年同期比 26.5%減、前期比 8.5%減)、営業赤字 16 億円 (同赤字、同赤字拡大) となった。メモリ半導体の市況悪化で試験装置周辺機器が不振で低迷し赤字に。受注は更に厳しく 140 億円 (同期比 35.6%減、前期比 12.8%減) となった。サービス部門は米アクロニクス社の買収効果で売上高 189 億円 (12.9%増) ながら無形資産償却増などの一時費用増で営業利益は 21 億円 (42.0%減) に止まった。

全体として半期での会社予想は公表していないものの、計画を大きく上回ったとのこと。



20/3 期は上期を踏まえ増額修正し 12.6%減収 30.4%営業減変更も再度収益増額含み

会社側では上期が会社計画に対して上振れたこと、米中摩擦などの不透明感が増す中でも 5G デバイス向けなどを含め半導体設備投資が拡大基調にあることを勘案し、期初予想を増額した。修正予想は売上高 2470 億円 (170 億円増額、12.6%減)、営業利益 450 億円 (150

億円増額、30.4%減)、税前利益 458 億円 (148 億円増額、30.8%減)、税引利益 365 億円 (105 億円増額、36.0%減)、受注高 2350 億円 (50 億円増額、14.6%減)。セグメント別では、テストを 1740 億円 (140 億円増額、18%減)、内訳は SoC テスタ 1420 億円 (120 億円増額、5%減)、メモリテスタ 320 億円 (20 億円増額、49%減)、メカトロ 330 億円 (10 億円増額、16%減)、サービス他 400 億円 (20 億円増額、27%増) とした。現状、5G の開発競争が続き SoC テスタの増大 (期初計画比 290 億円増額) の大半が 5G 関連で占められる。下期は SoC テスタが一旦減速するとしているが、実際は引き続き高水準の受注が続く見通し。さらに Q2 にメモリテスタも DRAM の DDR5 シフト、高機能 PC 向け高速品など需要が拡大方向で、収益の上振れ要因となろう。

21/3 期は SoC テスタに加えメモリテスタも DRAM 向けから本格回復し収益上伸へ

21/3 期は引き続き 5G 向けに SoC テスタ需要の拡大が見込める他、7 ナノで EUV が本格的に利用されると従来の液浸でのデバイスに対し、トランジスタの数が 20~30%程度伸びる見通しで、テスト需要が加速しよう。またメモリテスタも本格回復が期待される。特に DRAM は昨年 4 月に新規格 DDR5(Double Data Rate 5)に対応したテストを世界に先駆けて発表、DDR5 は現在主流の DDR4 の 2 倍の最大データ転送速度を実現し、次世代 CPU の普及に伴い本格採用となる見通しで、メモリテスタを牽引しよう。また 3DNAND も 2020 年度には大型設備投資再開となる見通し。このため、21/3 期は改めて収益の上伸が期待される。さらに 21/3 期以降、ミリ波などに対応した 5G 端末の本格拡大、次世代メモリなども登場すると見られ、テスト需要の更なる拡大から収益拡大が続こう。

株価は再増額、来期収益上伸で 21/3 期 DO 予想 EP306 円に対し電機平均 21 倍 6400 円目標

同社株価は上期決算発表での増額修正を受け、11/14 には 5820 円の年初来高値を付け、DO 目標株価の 5550 円をクリアしている。今期は 5G 関連での SoC テスタ受注増が寄与、来 21/3 期はメモリテスタの本格回復も加わり収益上伸、さらに 22/3 期も収益拡大が加速する見通し。半導体製造装置の先導役として 21/3 期 DO 予想 EPS306 円に対し、電機平均 PER21 倍にあたる 6400 円を目標にアウトパフォーム継続とする。

アドバンテスト(6857)										
	売上高	増減率	営業利益	増減率	税引利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
18/3期	207,223	32.9%	24,487	76.1%	24,282	61.6%	18,103	27.5%	101.9	32.00
19/3Q1	70,931	74.3%	15,818	610.6%	16,537	955.3%	13,892	1301.8%	77.0	0.00
19/3Q2	72,646	52.2%	17,945	246.0%	18,560	286.3%	16,257	313.1%	88.4	50.00
19/3Q3	74,920	47.3%	20,703	540.4%	20,619	506.6%	17,902	602.9%	92.7	0.00
19/3Q4	63,959	-5.9%	10,196	-26.3%	10,495	-27.7%	8,942	-15.9%	44.4	42.00
19/3H1	143,577	62.4%	33,763	355.5%	35,097	450.8%	30,149	512.0%	165.4	50.00
19/3H2	138,879	16.9%	30,899	81.0%	31,114	73.7%	26,844	103.7%	137.1	42.00
19/3期	282,456	36.3%	64,662	164.1%	66,211	172.7%	56,993	214.8%	302.4	92.00
20/3Q1	66,165	-6.7%	15,160	-4.2%	12,084	-13.0%	12,084	-13.0%	61.1	0.00
20/3Q2	71,586	-1.5%	17,718	-1.3%	18,330	-1.2%	14,668	-9.8%	74.1	41.00
20/3H1	137,751	-4.1%	32,878	-2.6%	33,278	-5.2%	22,583	-25.1%	135.2	41.00
20/3H2会予(10/30)	109,249	-21.3%	12,122	-60.8%	12,522	-59.8%	13,917	-48.2%	49.3	-
20/3期初期会予	230,000	-18.6%	30,000	-53.6%	31,000	-54.4%	26,000	-54.4%	138.0	-
20/3期修正会予(10/30)	247,000	-12.6%	45,000	-30.4%	45,800	-30.8%	36,500	-36.0%	184.5	-
20/3H2DO予	122,249	-12.0%	18,622	-39.7%	19,022	-38.9%	18,417	-31.4%	93.1	21.00
20/3期DO予	230,000	-18.6%	31,000	-52.1%	31,000	-54.4%	26,000	-54.4%	138.0	40.00
20/3期DO予	260,000	-8.0%	51,500	-20.4%	52,300	-21.0%	41,000	-28.1%	207.3	62.00
21/3期DO予	300,000	15.4%	74,500	44.7%	75,500	44.4%	60,500	47.6%	305.9	92.00
22/3期DO予	370,000	23.3%	105,000	40.9%	106,000	40.4%	85,000	40.5%	429.8	130.00

年度	18/3期	19/3期	20/3期会予	20/3期部門修正会予	20/3期修正会予(10/30)	20/3期DO予	21/3期DO予	22/3期DO予
売上高	207,223	282,456	230,000	230,000	247,000	260,000	300,000	370,000
営業利益	24,487	64,662	30,000	30,000	45,000	51,500	74,500	105,000
税引利益	24,282	66,211	31,000	31,000	45,800	52,300	75,500	106,000
親株主帰属純利益	18,103	56,993	26,000	26,000	36,500	41,000	60,500	85,000
セグメント売上情報年度	18/3期	19/3期	20/3期会予	20/3期修正会予		20/3期DO予	21/3期DO予	22/3期DO予
半導体システム	140,864	211,713	153,000	160,000	174,000	183,000	218,000	271,000
メモリ	53,000	63,100	40,000	30,000	32,000	34,000	44,000	66,000
ノンメモリ	87,900	148,600	113,000	130,000	142,000	149,000	174,000	210,000
メカトロ	35,893	39,229	36,000	32,000	33,000	35,000	38,000	53,000
サービス	30,466	31,514	41,000	38,000	40,000	42,000	44,000	46,000
合計	207,223	282,456	230,000	230,000	247,000	260,000	300,000	370,000
セグメント営業利益	18/3期	19/3期	20/3期会予	20/3期修正会予		20/3期DO予	21/3期DO予	22/3期DO予
半導体システム	28,917	65,058				52,200	75,000	105,000
メカトロ	-2,783	-712				-200	500	1,000
サービス	4,197	4,242				6,000	6,000	6,500
小計	30,331	68,588				58,000	81,500	112,500
調整額	-956	-2,069				-6,500	-7,000	-7,500
営利合計	24,487	64,662	30,000	30,000	45,000	51,500	74,500	105,000
セグメント利益率	18/3期	19/3期	20/3期会予	20/3期修正会予		20/3期DO予	21/3期DO予	22/3期DO予
半導体システム	20.5%	30.7%				28.5%	34.4%	38.7%
メカトロ	-7.8%	-1.8%				-0.6%	1.3%	1.9%
サービス	13.8%	13.5%				14.3%	13.6%	14.1%
営業利益	11.8%	22.9%	13.0%	13.0%	18.2%	19.8%	24.8%	28.4%

